

令和3年11月16日

保護者の皆さまへ

大阪狭山市立狭山中学校
校長 寺下 憲志

髪型に関する校則の見直しについて

平素は本校の教育活動にご理解・ご協力いただき、まことにありがとうございます。

標記については、本日までを試行期間とし、10月末には保護者の皆さまからの意見を伺い、96名の保護者からご回答いただきました。ありがとうございます。一部ですが紹介します。

- ・生徒会活動として自分たちで考え、先生方と話をしながらルールを考えるのはいいこと。
- ・身だしなみを整えるという意識が高くなった。
- ・過剰にならないければ問題ないと思います。
- ・脱色・金髪でなければ、いいのではないかと思います。
- ・体育大会の動画を見ても奇抜な髪型の生徒はいないと思うので、いいと思います。
- ・ツーブロックの方がさわやかでいいと思います。
- ・前髪が長ければ体育や給食の時間、自分で考えて「くれば」いいと思います。
- ・今の時代に合わせてルールを考える活動はいいこと。賛成です。
- ・今まで通りの方が中学生らしい。狭山中のまじめなイメージが崩れます。
- ・ツーブロックを子どもは威圧的に感じています。また、長髪をまとめず、授業を受けている様子も参観で見ましたが、集中できているのかなと感じました。
- ・髪型を考えるより、毎日きっちりと制服で登校するよう統一すればいいのでは。

頂戴しましたご意見の多くは賛成でした。ご意見の中で登場したキーワードとして「中学生らしい」や「さわやか」、「茶髪・染色しているのでなければ」がありました。見直しの必要がないという意見にも「まじめ」や「きっち」、「威圧的に感じるのはいけない」という表現がされており、保護者の皆さまが求める子ども像として、このようなイメージがあることがわかりました。また、「子どもの自主的な活動」や「自分たちで考える」といった本校が進めている生徒会・委員会活動に肯定的なご意見もたくさん頂戴し、教育活動の方向性にご理解いただいていることもわかりました。

これらの意見や子どもたちの様子を踏まえ、教職員と話し合い、校則を生徒会が提示した見直し案に**右の通り一部修正を加え、認めることに決めました。**

今後も子どもたちの自主的な活動や時代に応じた取組みを進めてまいります。引き続き、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。